

Mizuho Bangkok Daily Market Report

MIZUHO

Dated of 2024/11/22

Forex

	Close	CHANGE
USD/THB	34.72	0.02
JPY/THB	0.2246	0.0014
USD/JPY	154.54	-0.90
EUR/THB	36.36	-0.20
EUR/USD	1.0474	-0.0070
USD/CNH	7.255	0.004
SGD/THB	25.78	-0.03
AUD/THB	22.60	0.03
USD/INR	84.50	0.09
USD Index	106.97	0.29

Bond

	Close	CHANGE
5Y (THB)	2.214	-0.002
10Y (THB)	2.445	-0.001
5Y (USD)	4.304	0.025
10Y (USD)	4.422	0.012

Commodity

	Close	CHANGE
GOLD	2,674.9	23.2
WTI (Oil)	70.10	1.23
Copper	9,008.5	-81.0

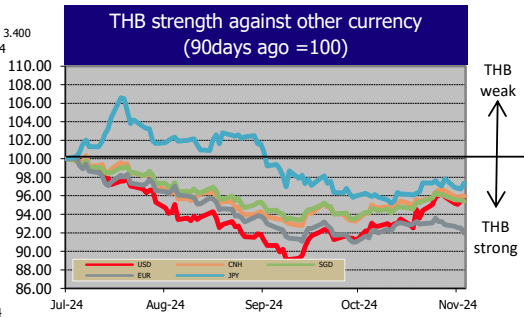
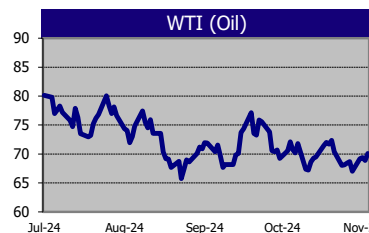
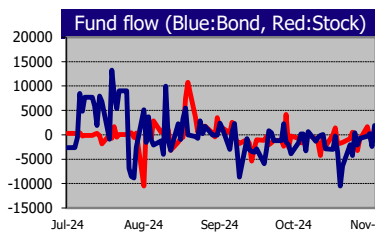
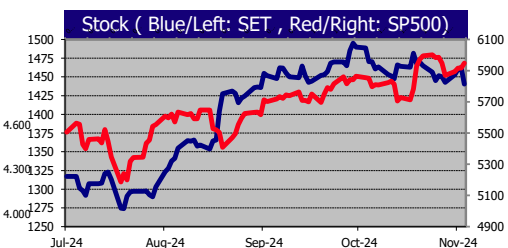
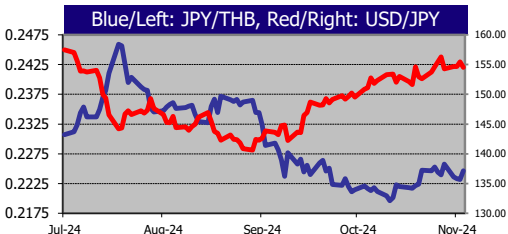
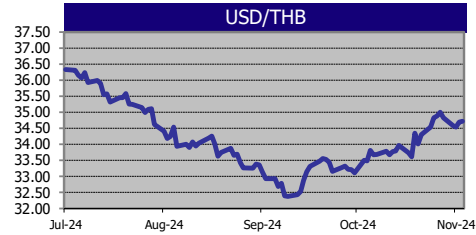
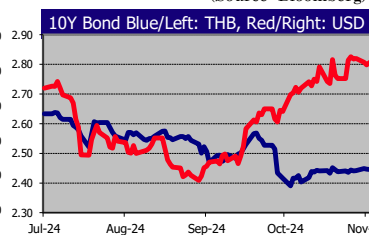
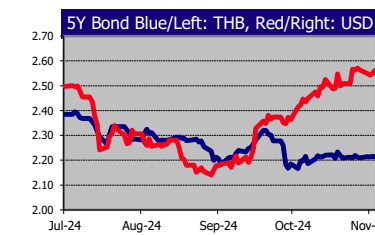
Stock

	Close	CHANGE
SET (TH)	1,440.46	-22.02
NIKKEI (JP)	38,026.17	-326.17
DOW (US)	43,870.35	461.88
S&P500 (US)	5,948.71	31.60
SHCOMP (CN)	3,370.40	2.41
DAX(GER)	19,146.17	141.39

Fund Flow (Overseas Investors)

	Close	CHANGE
Stock net flow	1,155	2507.2
Bond net flow	1,924	4296.8

*compared with previous day
(Source: Bloomberg)



Yesterday's market summary

●ドル相場

昨日のドル相場はほぼ変わらず。34.72レベールでスタート。バンコク時間は新規材料に乏しい中で、総じて米金利の動きに追随し、同水準での売り買いが交錯。海外時間に入ると、地政学リスクへの警戒感に加え、NY時間に発表された失業保険継続受給者数が予想を上回ったことを受け、ドルの軟調推移が続いた。しかしその後米金利が上昇に転じたことを受け、終盤にかけてドル高展開となり、結局オープンとほぼ変わらず34.72レベールでクローズ。

ドル円その他

昨日のドル円は上昇。155円台前半でスタート。東京時間午前中に植田総裁の講演を控え、155円ちょうど付近でもみ合い推移が続いた。午後に植田総裁の「現時点で12月会合の予測は不可能」との発言が確認されたほか、ウィリアムズNY連銀総裁の「インフレの鈍化と金利の一段の低下を予想」との発言もあり、一時154円台前半まで下落。一服後は地政学リスクへの警戒感から、ドルが軟調に推移。NY時間に発表された米雇用関連指標が強弱まちまちな結果となると、一時154円を割り込んだ。しかしその後米金利が上昇に転じたことを受け、終盤にかけて徐々に値を戻し、154.54レベールでクローズ。

Bangkok Dealer's Eye

足元、日銀による早期追加利上げを見込む向きが徐々に多くなってきた。スワップ市場で観測される利上げ時期の織り込み度合いについては、次回12月会合が60%程度、来年1月までとなると85%程度だ。昨日は植田総裁が東京都内で講演を行っており、18日の名古屋の講演から特に変わったコメントはなかったように見られたものの、次回会合までに多くのデータと情報が得られる、という言い回しは、1年前に利上げムードが高まった時期のそれと似ているとの見方もあり(当時は能登半島地震等の影響もあり利上げは結局先延ばし)、こうした思惑が早期利上げ観測高まりの背景となっているのかもしれない。他方、昨日の講演では、為替レートが物価や経済に与える影響を精査するとも述べており、引き続き円相場水準というのも利上げを決める重要なファクターとなる可能性は高い。その点、足元のロシア、ウクライナ戦争の緊張激化は、安全資産としての円買いを喚起するとの見方もあり、場合によっては地政学リスクを通じた円高進行により、日銀の利上げが遠のくというシナリオも考えられるだろう。従って、ここからのドル円に関しては、材料難の環境ということも相まって、円安が進めば介入警戒感や利上げ観測の高まりにより上値が抑えられ、円高が進めば利上げ観測後退により下値が固くなる、という自動リバランスのような動きが続く展開もある程度意識しておきたい。(吉田)

The report is prepared for the sole purpose of information only. It is not an invitation to trade. The writer's view expressed herein would not be substituted for the exercise of rational judgement by the recipients.